



# 慶應義塾スタートアップ推進拠点 (Keio Biomedical Accelerator) 構築による 革新的医療シーズの早期社会実装と、 大学発スタートアップ・エコシステムの創成

学校法人慶應義塾  
慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター  
許斐 健二  
2026年1月19日

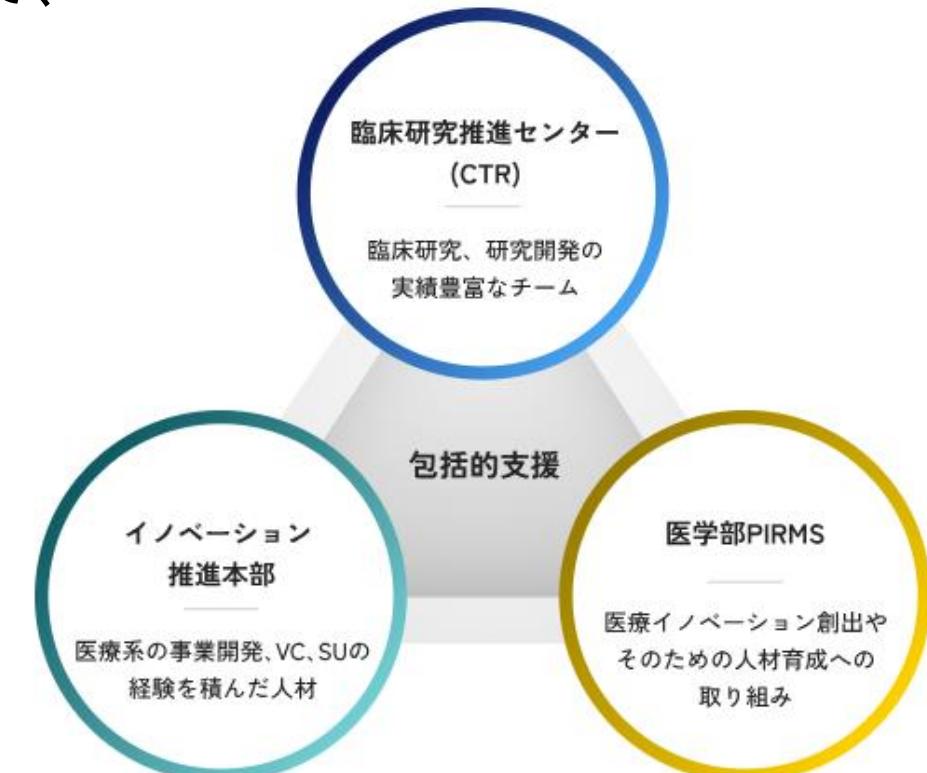
## 発表内容

---

1. 慶應義塾スタートアップ支援拠点(Keio Biomedical Accelerator)が目指すもの
2. 拠点の体制及び連携した支援の全体像
3. 拠点の特長
4. SPARK Keioについて
5. 採択課題
6. まとめ

# 1. 慶應義塾スタートアップ支援拠点(Keio Biomedical Accelerator)が目指すもの

橋渡し拠点である臨床研究推進センターと、产学連携部門であるイノベーション推進本部、そして医療イノベーションを担う医学部による共同体制で、慶應義塾拠点独自の特徴・特色を活かし、世界に伍する革新的な医薬品・医療機器・再生医療等製品等の事業化を志す大学発スタートアップを通じた医療系シーズの継続的な創出の実現と社会実装を推進していきます。



- PIRMS: 医科学研究連携推進センター  
(Center for the Promotion of Interdisciplinary Research in Medicine and Life science)

## 2. 拠点の体制及び連携した支援の全体像

機関内外の多様な連携先との協働を通じて、革新的な医療系シーズの橋渡し研究を推進するとともに、国際展開を見据えた包括的な事業化支援を育成プログラムとともに提供



\* PIRMS: 医科学研究連携推進センター (Center for the Promotion of Interdisciplinary Research in Medicine and Life science)

### 3. 拠点の特長：実績と慶應独自のネットワーク

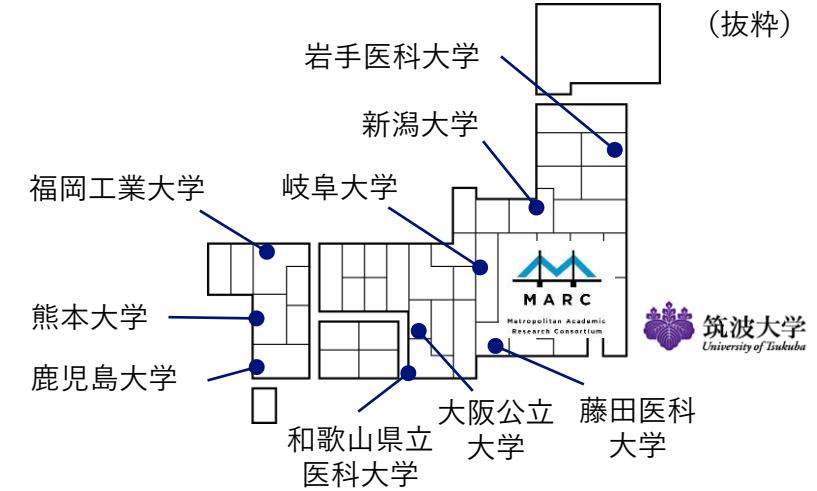
#### 大学発スタートアップに関する実績



#### 慶應独自の支援基盤とネットワーク



#### 国内の広いエリアにおける研究機関のシーズ支援実績



- スタートアップに関する大学別実績
  - 資金調達額：174億円/3位<sup>\*1</sup>
  - 企業数：377社/3位<sup>\*2</sup>
- 医療系スタートアップの上場事例
  - 坪田ラボ（2022年）
  - ケイファーマ（2023年）
  - Heartseed（2024年）

- 客員起業家制度、経営人材プール、支援者人材プールを整備
- 私立大学の機動性とMARCを通じた首都圏私大系シーズへのアクセス
- 首都圏唯一の異分野融合型研究開発支援機関
- 東日本で唯一の再生医療等臨床研究推進モデル病院

- 橋渡し研究機関として**400件以上**を支援し企業導出30件以上
- 医療系SU支援実績：**30社以上**
- 国立がん研究センター（22年～）や筑波大学（18年～）との協働によるシーズ支援・連携実績
- MARC + 全国の研究機関への支援実績<sup>\*3</sup>

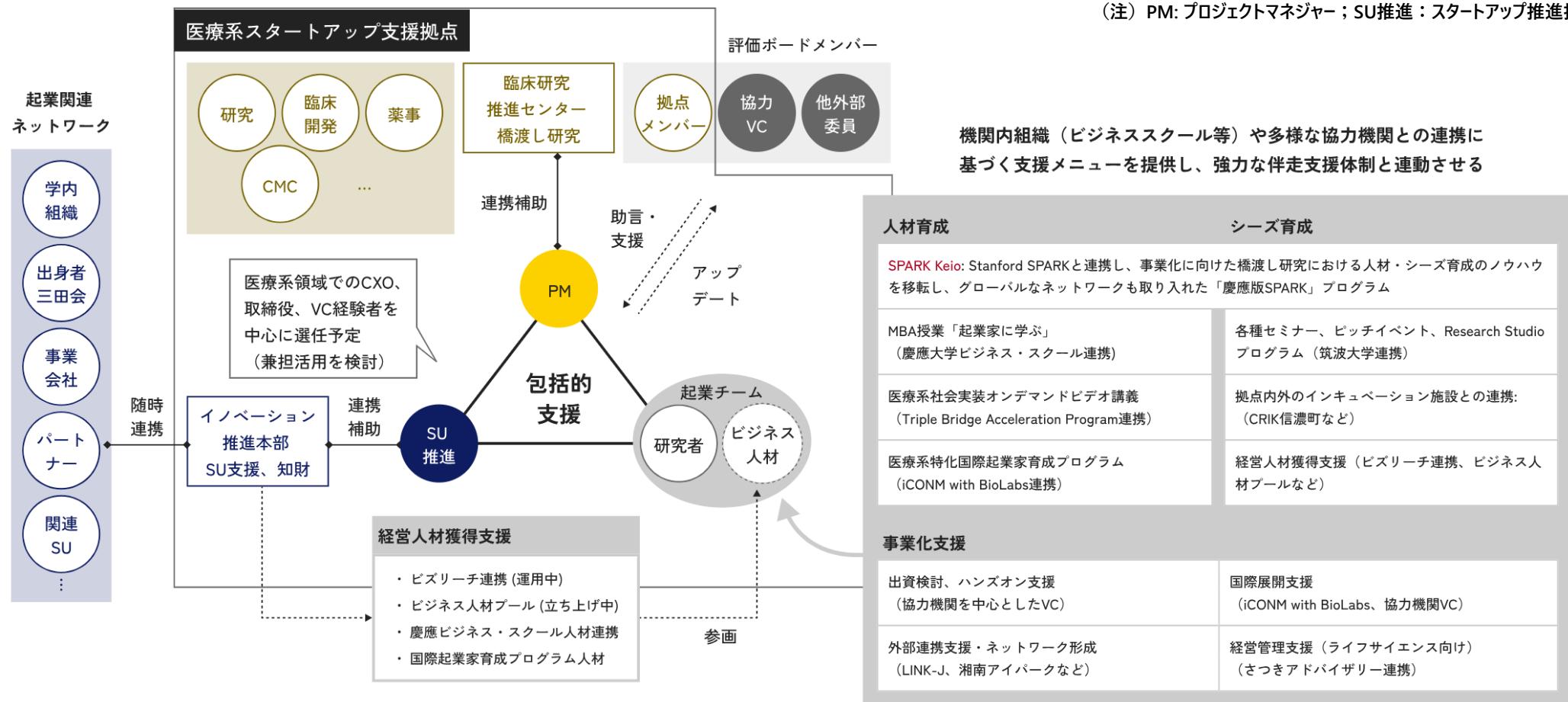
\* 1：経済産業省「令和6年度大学発ベンチャー実態等調査」

\* 2 : Japan Startup Finance 2024

\* 3 : 岩手医科大学、藤田医科大学、山梨大学、金沢工业大学、信州大学、岐阜大学、新潟大学、和歌山県立医科大学、大阪公立大学、熊本大学、福岡工业大学、鹿児島大学等

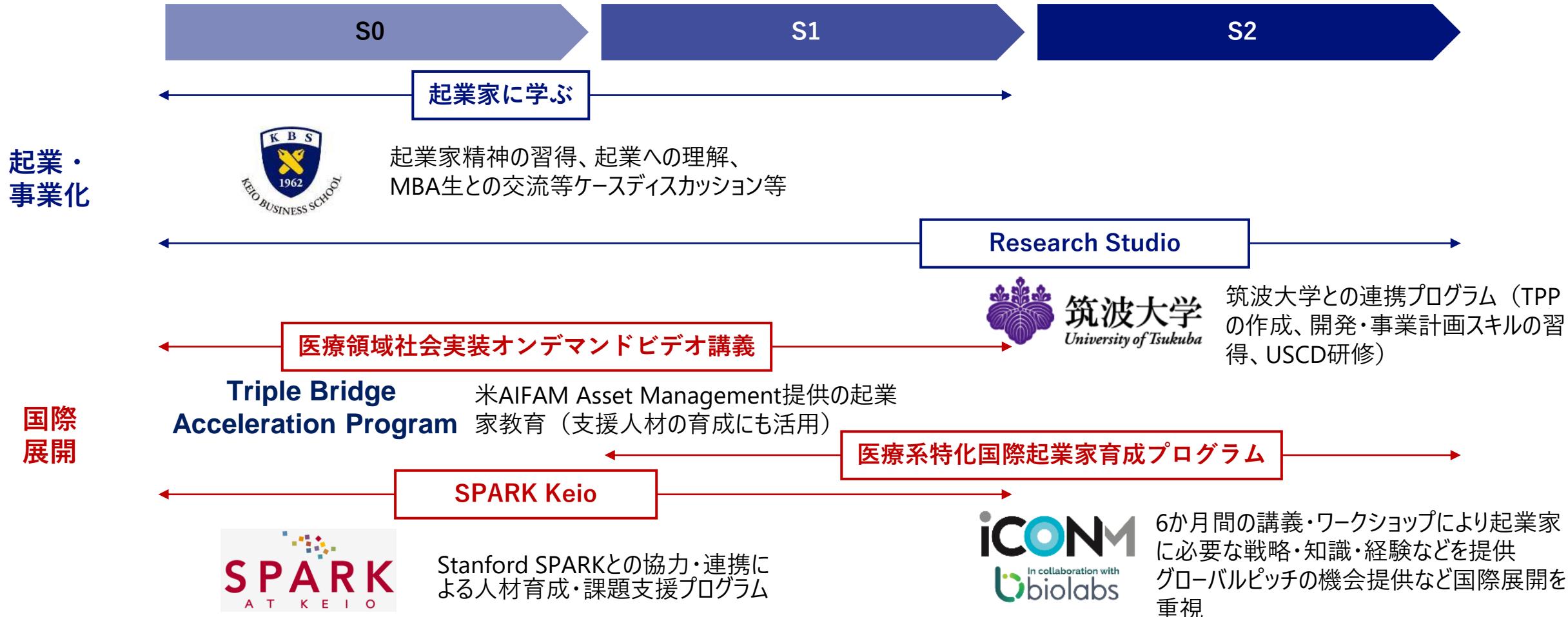
### 3 抱点の特長：起業に必要な研究開発等についての伴走支援体制

- 橋渡し抱点連携とプロジェクト管理を担うPMと、事業化面の推進を担うSU推進担当を中心に支援
- 経営人材獲得含めた**包括的な事業化支援**を個別シーズに合わせて育成プログラムとともに提供



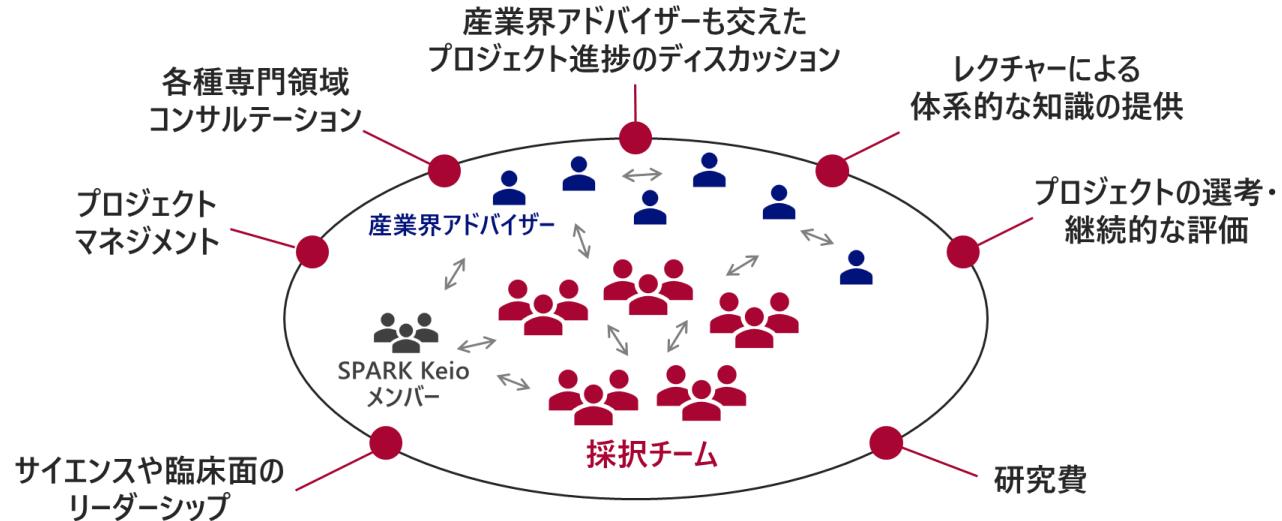
### 3 抱点の特長：シーズに合わせた人材育成プログラムの提供

- ・橋渡し抱点・产学連携抱点として培った育成力に加え、実績のある新規プログラムを提供
- ・開発初期から国際展開構想を支援する機能を大幅強化



## 4. SPARK Keioについて：introduction

- 橋渡し研究活動を包括支援するエコシステム構築の一環として、Stanford大学のSPARKプログラムからのノウハウや手法の導入を進め、当拠点におけるSPARKプログラム（"SPARK Keio"）を開始
- 橋渡し拠点・产学連携拠点として培った育成力に加え、実績のある人材育成プログラムを提供



「相互に学び、共同で実践するコミュニティ」による革新的治療・診断の創出をビジョンとし、コミュニティとしての橋渡し研究の学習や実践を重視し、包括的な支援を継続的に提供

### 産業界アドバイザー

研究、製造、品質保証、薬事、臨床開発、知財などの各分野をカバーし、事業会社（CVC含む）、薬事当局、VCなどの豊富な業界経験を持つ支援者

⇒産業界が求める水準や専門分野の治験を橋渡し研究に反映する重要な役割を担う

## 4. SPARK Keioについて：人材育成・課題支援の取り組み

- 火曜日・隔週を基本とした頻度で定例ミーティングを開催
- 原則として、2タイプのミーティングを交互に実施



SPARK Keio  
定例ミーティングの様子

### プロジェクト進捗



- 目的：チームへのフィードバックや助言の提供
- 内容：各チームの進捗を共有し、他チームや産業界アドバイザーとのディスカッションを経て、プロジェクトの推進に反映
- 各チーム視点では、1回／四半期程度の発表

### レクチャー



- 目的：アカデミアでは獲得が難しい、研究開発や実用化に必要な基盤的な知識の提供
- 内容：産業界アドバイザーを含む有識者による講義を中心に、最新トピックスなども検討する
- 1～2年サイクルでカリキュラムを設定する

助言の提供や知識の共有→プロジェクト推進への活用

## 5. 採択課題

事業開始から現在まで計11課題を採択し、拠点の特長を生かした伴走支援を実施

採択者一覧：<https://www.ctr.hosp.keio.ac.jp/startup/project/>

シーズS2  
(スタートアップ企業)

R6年度： **1 課題** (医療機器)  
R7年度： **1 課題** (再生医療等製品)

シーズS1  
(起業前のアカデミア研究者)

R6年度： **4 課題**  
(医薬品 2, 医療機器 1, 再生医療等製品 1)

シーズS0  
(アカデミアの若手研究者)

R6年度： **5 課題**  
(医薬品 3, 医療機器 1, 再生医療等製品 1)

**R7年度**  
**シーズS1,S0公募**

公募期間：2026/1/13～3/13  
支援開始：8月上旬（予定）  
※採択予定数：各シーズ 最大 3課題

## 6. まとめ

- 慶應義塾SU推進拠点では、拠点内外（国内外）の協力機関と連携し、革新的な医薬品・医療機器・再生医療等製品等の事業化を志す大学発スタートアップを通じた医療系シーズの継続的な創出の実現と社会実装を推進しています。
- 拠点独自の取り組みとして、Stanford大学のSPARKプログラムからのノウハウや手法を導入を進め、S0/S1シーズの橋渡し研究の推進を担う“SPARK Keio”を開始しています。
- SPARK Keioは、コミュニティとしての橋渡し研究の学習や実践を重視し、S0/S1シーズに対して社会実装に向けた包括的な支援を提供します。



**慶應義塾スタートアップ推進拠点(Keio Biomedical Accelerator)  
ホームページはこちら**

<https://www.ctr.hosp.keio.ac.jp/startup>